

大津市歴史博物館 活動報告

令和元年度

大津市歴史博物館

当館では、運営の指針として「大津市歴史博物館の基本的運営方針」を定めています。本書は、そこに示された運営方針や活動目標の成果をご確認いただくものとして、令和元年度の事業報告について、まとめたものです。博物館の活動状況を皆様方に広く知っていただければ幸いです。

令和2年4月 大津市歴史博物館

◇大津市歴史博物館の基本的運営方針

基本的運営方針1

地域に埋もれた歴史と文化をともに調べ、ともに守る

-
- ・活動目標(1) 資料の調査収集・研究活動の推進
 - ・活動目標(2) 調査情報のデータ化と収蔵資料の充実
 - ・活動目標(3) 地域資料の保存、活用に向けた情報の共有化と学習支援の推進
 - 【1-1-1】資料調査の実施状況 … 2
 - 【1-1-2】博物館資料の収蔵状況（収集資料件数・新収蔵資料） … 4

基本的運営方針2

あらゆる世代、あらゆる地域に対し、歴史情報の共有化に向けた情報発信を行う

-
- ・活動目標(1) 常設展示の充実
 - ・活動目標(2) 企画展示の充実
 - ・活動目標(3) 子ども・若者に対する学習支援の推進
 - ・活動目標(4) 幅広い世代に向けた積極的な情報発信
 - 【1-2-1】常設展示観覧者数 … 11
 - 【1-2-2】企画展「大津南部の仏像―旧栗太郡の神仏―」の結果 … 12
 - 【1-2-3】企画展「大津絵―ヨーロッパの視点から―」の結果 … 15
 - 【1-2-4】特集展示「明智光秀と戦国時代の大津」の開催 … 17
 - 【1-2-5】普及事業（れきはく講座等）の実施状況 … 18
 - 【1-2-6】市内小中学校等による博物館利用状況 … 20
 - 【1-2-7】広報・情報発信の状況 … 22

基本的運営方針3

大津市の歴史と文化の普及に携わるさまざまな組織の活動と連携し、支援体制を築き、歴史情報のセンターとしての役割を担う

-
- ・活動目標(1) 大津市各部局および市内大学、各種団体、文化施設等との連携
 - ・活動目標(2) 歴史と文化情報のセンターとしての役割を担う
 - 【1-3-1】講師・調査派遣等の状況 … 23
 - 【1-3-2】収蔵資料の貸出し状況・特別利用の状況 … 25
 - 【1-3-3】企画展示室の利用状況 … 26

【1-1-1】資料調査の実施状況（令和元年度）

本館では、継続的な資料調査の他に、他機関・専門家等との合同による資料調査を行っている（継続も含む）。

（1）科学研究費補助事業、大学・研究機関への協力・共同調査

- ・基盤研究A「3次元データに基づく人工知能による仏顔の様式研究」（課題番号 18H03571 代表者 藤岡穰〔大阪大学〕平成30年～令和4年度）
上記科研の研究協力者として、大津市内に所在する比叡山延暦寺や石山寺などの寺院に伝来する金銅仏の調査研究を実施。
- ・基盤研究A「河内地域の仏教文化と歴史に関する総合的研究」（課題番号 16H01916 独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館）
上記科研の研究協力者として、大津市内に所在する寺院に伝来する仏像の調査研究を実施。
- ・基盤研究B「真義真言宗系聖教の形成と教学的交流に関する基礎的研究」（課題番号 17H02342 代表者 宇都宮啓吾〔大阪大谷大学〕平成29年～令和3年度）
上記科研の研究協力者として、大津市内に所在する聖衆来迎寺や法明院、西教寺に伝来する聖教の調査研究を実施。
- ・基盤研究C「江戸定府大名堀田氏の所領統治—地域社会と行政機構の相関モデルの構築—」（課題番号 17K03115 代表者 東谷智〔甲南大学〕平成29年～同31年度）
甲南大学教授東谷智を代表とする調査団が、上記科学研究費補助事業に採択され、歴史博物館と共同で、伊豆神社（大津市本堅田）文書の調査・整理を行い、堅田藩に関する総合調査研究を実施。
- ・大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所プロジェクト「人口減少時代における気候変動適応としての生態系を活用した防災減災（Eco-DRR）の評価と社会実装」（代表者：吉田丈人）
洪水・土砂災害・高潮などの自然災害への生態系がもつ多様な機能を活用する防災減災の手法（Eco-DRR）による調査・研究。比良山麓地域（八屋戸・南小松）の地域史料と調査・整理の実施。
- ・基盤研究C「近世・近代の尼僧の社会活動—尼門跡の支持者と一般尼寺との比較を通して—」（大手前大学）研究協力者

（２）その他の調査

- ・ 歴史博物館れきはく講座受講者で、古文書読解を目的とする有志で結成された研究会と、館蔵文書・関係文書の整理・解読を進めている。（平成 25 年～）
- ・ 龍谷大学・佛教大学・花園大学などの研究者と協力し、法明院の聖教調査を進めている。
- ・ パリ大津絵展に伴う、国立ギメ東洋美術館附属デヌリー美術館所蔵大津絵画像彫刻作品群調査。フランス国立極東学院長クリストフ・マルケ氏との合同調査。
- ・ 小松小学校より、学校所在の郷土学習資料や学校関係資料の調査を依頼された。については、博物館実習の学生に協力を得て、清掃や調書作成等の作業を行なった。

【1-1-2】博物館資料の収蔵状況

◇収集資料件数

	購 入 01	受 贈 02	受 託 03	合 計
絵 画 01	148件	70件 (+5件)	237件	455件 (+5件)
彫 刻 02	1件	1件	30件	32件
工 芸 03	35件	37件	44件	116件
書 跡 04	27件	21件	41件	89件
古 文 書 05	19件 (+1件)	27件 (+2件)	66件	112件 (+3件)
考 古 06	0件	5件	12件	17件
歴 史 07	34件 (+2件)	207件 (+13件)	89件	330件 (+15件)
民 俗 08	0件	22件	9件	31件
合 計	264件 (+3件)	390件 (+20)	528件	1,182件 (+23件)

(令和2年2月末日現在)

◇新収蔵資料（令和元年度第2回収集資料）

令和2年1月16日答申

購入資料

	種別	名称	員数
1	古文書	本多康稷書状	1面
2	歴史資料	大津町之内浜通之図	1鋪
3	歴史資料	大津絵人形 永楽屋製	1組

受贈資料

	種別	名称	員数
1	絵画	源氏乃君近江八景遊覧之図 豊原国周画	1組
2	絵画	風水閣襖絵 渡辺公観筆 附風水閣扁額 大谷句佛筆	23面
3	絵画	槍持奴図 柴田晩葉筆	1面
4	絵画	三井寺の弁慶力餅 中沢弘光画	1枚
5	絵画	琵琶湖 琴塚英一画	1枚
6	古文書	大津百艘船定書	1通
7	古文書	山地猛書簡（軍事郵便）附封筒	1通
8	歴史資料	京都町奉行高札	1点
9	歴史資料	羽太家資料	一括
10	歴史資料	官幣大社建部神社御勅祭式典之図	1枚
11	歴史資料	菓子司藤屋義重関係資料	一括
12	歴史資料	山王祭等坂本関係写真およびフィルム	一括
13	歴史資料	又平人形	一括
14	歴史資料	京津電車御案内 吉田初三郎画	1点
15	歴史資料	京阪電車京津沿線案内	1点
16	歴史資料	江若鉄道関係資料（駒井芳雄氏旧蔵）	7点
17	歴史資料	江若鉄道指定梅田軒 駅弁掛け紙	1枚
18	歴史資料	小池正一撮影ガラス乾板	51点
19	歴史資料	TVK-5型テレビ受信機	1台
20	歴史資料	『サヨナラ江若鉄道』8ミリフィルム	1本

＜購 入＞

購入1 古文書 本多康稷書状 1面 江戸時代

膳所藩主 12 代本多康稷の書状。分家で家老の本多豊七郎に宛てたもの。「在京」中の康稷に送られた「鮮魚」を賞味したことなど、豊七郎に対する礼が記されている。

購入2 歴史資料 大津町之内浜通之図 1鋪 江戸時代

江戸時代の大津町の港湾部を示した絵図。諸大名などの年貢輸送のための蔵屋敷が網羅されている。書き込まれた内容から、享保4～6年（1719～21）の間に作成されたと推定される。

購入3 歴史資料 大津絵人形 永楽屋製 1組 昭和（戦前）

永楽屋・高橋久治郎（1878-1943）によって、大津市長等で販売されていた大津絵人形。席亭の「大駒」主人が敷地内に窯を設け、素焼きに金彩上絵付を施した高級人形を制作していたもの。

＜受 贈＞

受贈1 絵画 源氏乃君近江八景遊覧之図 豊原国周画 1組 江戸時代

幕末明治の浮世絵師、豊原国周によるもの。源氏物語のやつし絵として、湖上に月見船を浮かべ、光源氏に見立てた人物が芸妓の余興を楽しむ場面を近江八景とともに描く。

受贈2 絵画 風水閣襖絵 渡辺公観筆 附風水閣扁額 大谷句佛筆 23面 大正時代

近江製社社長、長浜町長などを歴任した二代下郷伝平が、大正年間、琵琶湖疏水畔に造営した別荘にあった襖絵群。丸子船泊図をはじめ、高士図、群雀図、千鳥図などからなる。

受贈3 絵画 槍持奴図 柴田晩葉筆 1面 昭和（戦前）

大津市出身の画家、柴田晩葉によって、板絵に描かれた大津絵の槍持奴。画題や作風から、書画頒布会で入手したものと思われる。

受贈4 絵画 三井寺の弁慶力餅 中沢弘光画 1枚 昭和（戦前）

観桜の季節の三井寺観音堂の風景。絵馬堂で営業していた頃の弁慶力餅の茶店が描かれている。絵は中沢弘光、版は加藤版画研究所（加藤潤二）による。

受贈5 絵画 琵琶湖 琴塚英一画 1枚 昭和（戦前）

大津港に浮かぶ汽船を描く。絵は琴塚英一で、版は内田美術書肆。「古都四景」というシリーズの中の1枚（他は三十三間堂、平等院、1景は不明）と思われる。

受贈6 古文書 大津百艘船定書 1通 江戸時代

江戸時代に琵琶湖水運の中心的役割を担った「大津百艘船」の特権を認めた京都町奉行の定書。大津から積み出される物資と人の独占を認めたもので、為政者の交代ごとに発給される文書。

受贈7 古文書 山地猛書簡（軍事郵便）附封筒 1通 昭和（戦前）

奉天関東軍無線電信教習所山本隊の山地猛より、膳所本町の園権一氏に宛てられた軍事郵便。満州のことや家族の安否などを頼む内容となっている。

受贈8 歴史資料 京都町奉行高札 1点 江戸時代

江戸時代に琵琶湖水運の中心的役割を担った「大津百艘船」の特権を認めた京都町奉行の定書を高札にしたもの。為政者の交代ごとに発給される文書をもとに作成された高札。

受贈 9 歴史資料 羽太家資料**一括 江戸～明治時代**

膳所藩士羽太家（奥方付・御纏奉行）に伝来した歴史資料。なかでも江戸時代後期～明治末年の「諸事控」は、膳所十一烈士事件など、幕末期膳所藩の動向を知る貴重な情報が含まれている。

受贈 10 歴史資料 官幣大社建部神社御勅祭式典之図**1 枚 明治時代**

明治 32 年、官幣大社に列せられた年に行なわれた勅祭の式典の様子を描いた印刷物。絵と印刷は浅井広信（二世木下広信か）で発行者は瀬田橋本の久保庄左衛門。

受贈 11 歴史資料 菓子司藤屋義重関係資料**一括 明治～平成**

坂本にあった菓子店に関する資料。延暦寺御用達の鑑札のほか、菓子銘を記した看板、延暦寺や西教寺・聖衆来迎寺の紋菓や、坂本の風景をあしらった干菓子の木型が数多く含まれている。

受贈 12 歴史資料 山王祭等坂本関係写真およびフィルム 一括 大正～昭和（戦前）

坂本在住の故人が撮影・収集した山王祭を中心とした坂本関係の写真資料。アルバムや 8 ミリフィルム、VHS ビデオ等からなる。大正期の氏神神輿の新調記念写真なども含まれている。

受贈 13 歴史資料 又平人形**一括 大正～昭和（戦前）**

大津絵をモチーフにした木製人形。ミシン挽きの角材と布・紙などで作られている。大津絵の鬼の念仏・長刀弁慶・鷹匠のほか、昭和の大典に野洲で行なわれたお田植祭の人形からなる。

受贈 14 歴史資料 京津電車御案内 吉田初三郎画**1 点 大正時代**

大正元年、京都三条大橋－札ノ辻間に開通した京津電気軌道の沿線案内。絵は、各地の観光鳥瞰図を手がけた吉田初三郎。ここでは名所案内風の挿絵で構成されている。

受贈 15 歴史資料 京阪電車京津沿線案内**1 点 昭和（戦前）**

大正 14 年、京津電気軌道は京阪電気鉄道と正式に合併し、京阪電鉄京津線となる。前身の京津電気時代に吉田初三郎に注文した沿線案内〔受贈 14〕のデザインを元に、再構成したもの。

受贈 16 歴史資料 江若鉄道関係資料（駒井芳雄氏旧蔵） 7 点 昭和（戦前・戦後）

元社員が保管されていた江若鉄道関係資料。在職中の辞令のほか、戦前の映画ロケで撮影された記念写真、廃線前後の新聞切り抜きや時刻表などからなる。

受贈 17 歴史資料 江若鉄道指定梅田軒 駅弁掛け紙**1 枚 昭和（戦前）**

江若鉄道浜大津駅と三井寺下駅の構内で販売していた、梅田軒の駅弁の掛け紙。廃線まで浜大津駅の構内の売店として営業していた。デザインから、昭和 3 年頃の掛け紙だと考えられる。

受贈 18 歴史資料 小池正一撮影ガラス乾板**51 点 大正～昭和（戦前）**

京都在住の小池正一が、大正から昭和の初めごろにかけて、趣味として撮影したガラス乾板 50 枚およびフィルム 1 枚。京都が多いが、大津港や県内のスキー場と思われる写真などが含まれる。

受贈 19 歴史資料 TVK-5 型テレビ受信機**1 台 昭和（戦後）**

昭和 30 年（1955）にテレビ部品技術研究会（TVK）によって開発された最初期のテレビ受信機。受信機は完成品だけでなく、キットでも販売され、説明書や組立配線指導図も現存している。

受贈 20 歴史資料 『サヨナラ江若鉄道』 8 ミリフィルム 1 本 昭和（戦後）

昭和 44 年（1969）の江若鉄道廃線にあたり、江若鉄道の社員（寄贈者）が撮影した 8 ミリフィルム。9 月から 10 月にかけて撮影したカラー・モノクロ混在の 10 分 30 秒で構成されている。

〈購入〉



購入 1 古文書

本多康稷書状

1 面 江戸時代



購入 2 歴史資料

大津町之内浜通之図

1 鋪 江戸時代



購入 3 歴史資料

大津絵人形 永楽屋製

1 組 昭和（戦前）

〈受贈〉



受贈 1 絵画

源氏乃君近江八景遊覧之図 豊原国周画

1 組 江戸時代



受贈 2 絵画

風水閣襖絵 渡辺公観筆

附「風水閣」扁額 大谷句佛筆

23 面 大正時代



受贈 3 絵画

槍持奴図 柴田晩葉筆

1 面 昭和（戦前）



受贈 4 絵画

三井寺の弁慶力餅 中沢弘光画

1 枚 昭和（戦前）



受贈 5 絵画

琵琶湖 琴塚英一画

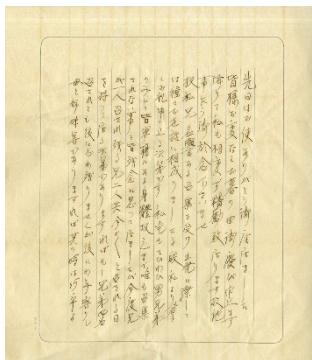
1 枚 昭和（戦前）



受贈 6 古文書

大津百艘船定書

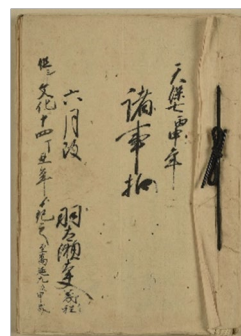
1 通 江戸時代



受贈 7 古文書
山地猛書簡（軍事郵便）
1 通 昭和（戦前）



受贈 8 歴史資料
京都町奉行高札
1 点 江戸時代



受贈 9 歴史資料
羽太家資料
一括 江戸～明治時代



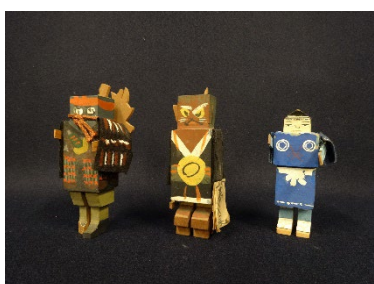
受贈 10 歴史資料
官幣大社建部神社御勅祭式典之図
1 枚 明治時代



受贈 11 歴史資料
菓子司藤屋義重関係資料
一括 明治～平成



受贈 12 歴史資料
山王祭等坂本関係写真
およびフィルム
一括 大正～昭和（戦前）



受贈 13 歴史資料
又平人形
一括 大正～昭和（戦前）



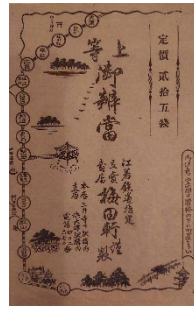
受贈 14 歴史資料
京津電車御案内 吉田初三郎画
1 点 大正時代



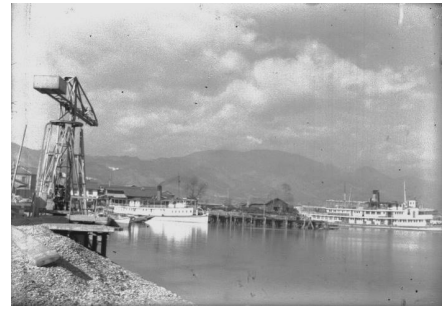
受贈 15 歴史資料
京阪電車京津沿線案内
1 点 昭和（戦前）



受贈 16 歴史資料
江若鉄道関係資料
(駒井芳雄氏旧蔵)
7 点 昭和 (戦前・戦後)



受贈 17 歴史資料
江若鉄道指定梅田軒
駅弁掛け紙
1 枚 昭和 (戦前)



受贈 18 歴史資料
小池正一撮影ガラス乾板
5 1 点 大正～昭和 (戦前)



受贈 19 歴史資料
TVK-5 型テレビ受信機
1 台 昭和 (戦後)



受贈 20 歴史資料
『サヨナラ江若鉄道』8 ミリフィルム
1 本 昭和 (戦後)

【1-2-1】 常設展示観覧者数（平成31年4月～令和2年2月）

（単位：人）

	個人			団体			市内 65歳以 上	市内 障がい 者等	歴博 カード 会員	減免・ 招待	計	前年 同月
	一般	高大	小中	一般	高大	小中						
4月	577	28	22	906	6	2	156	17	135	873	2,722	3,376
5月	277	22	18	337	2	11	53	11	68	156	955	873
6月	244	14	8	207	83	0	51	21	32	41	701	558
7月	230	17	74	149	1	0	46	96	121	137	871	761
8月	452	53	184	224	3	32	76	45	124	118	1,311	987
9月	256	22	14	302	18	3	34	17	94	191	951	943
10月	1,063	38	23	739	48	0	176	52	248	601	2,988	3,824
11月	1,599	93	26	1,029	10	258	298	63	328	1,541	5,245	5,798
12月	134	6	13	229	22	43	18	46	43	34	588	501
1月	342	14	55	181	0	1	81	36	126	94	930	402
2月	419	33	76	208	3	0	76	37	140	76	1,068	578
3月	478	26	33	225	7	2	74	23	116	347	1,331	2,807
計	6,071	366	546	4,736	203	352	1,139	464	1,575	4,209	19,661	21,408

対前年比 **-1,747**

【参考】 常設展示観覧料（令和元年10月1日以降の料金）

個人 一般330円 高校生・大学生240円 小学生・中学生160円

団体 一般260円 高校生・大学生190円 小学生・中学生130円

※団体は15人以上。

※大津市内在住の65歳以上の人は一般料金の半額。

※大津市内在住の障がい者、介護保険の要介護者・要支援者及びその介護者1名は無料。

※歴博カード会員（一般2,000円 高大1,500円 小中1,000円）は記名本人のみ登録から

1年間有効で、常設展示ほか本館主催の企画展を何度でも観覧可能。

【1-2-2】企画展「大津南部の仏像―旧栗太郡の神仏―」の結果

1. 事業概要

【名 称】 第 79 回企画展 「大津南部の仏像―旧栗太郡の神仏―」
【会 期】 令和元年(2019) 10 月 12 日(土)から 11 月 24 日(日)まで 開催 38 日間
【会 場】 大津市歴史博物館 2 階 企画展示室 A
〒520-0037 大津市御陵町 2 番 2 号

【主催・後援等】

【主催】 大津市、大津市教育委員会、大津市歴史博物館、京都新聞

【後援】 朝日新聞大津総局、e-radio、NHK 大津放送局、共同通信社大津支局、KBS 京都、
産経新聞社、時事通信社大津支局、(株)ZTV 滋賀放送局、中日新聞社、日本経済
新聞社大津支局、BBC びわ湖放送、毎日新聞大津支局、読売新聞大津支局

【観覧料】

一般：800 円（640 円） 高校・大学生：400 円（320 円） 小・中学生：200 円（160 円）

※（ ）内は、前売り、15 人以上の団体、大津市内在住の 65 歳以上の方、大津市内在住の障
がい者・介護保険の要介護者・要支援者、その他各種割引対応のチケット・カードを提示
した人の割引料金。

【展示資料】 全 55 件

【入場者数】 総計 4,397 人

【内訳】◆有料観覧者数 計 2,989 人

このうち個人 一般：1,276 人 高大生：91 人 小中生：15 人

このうち割引 一般：1,089 人 高大生：52 人 小中生：44 人

このうち歴博カード会員：422 人

◆無料観覧者数（招待者等） 計 1,408 人

【印刷物の発行部数】

リーフレット（A4 サイズ） 30,000 枚 ポスター（B2 サイズ） 1,500 枚

※この他、入場チケット、本館ホームページや新聞広告・情報誌等の各種広報媒体。

【刊行物】

図録『大津南部の仏像―旧栗太郡の神仏―』 1300 部（令和元年 10 月 12 日刊行）

※企画展期間中の販売実績：538 部（※なお、別途 300 部を関係機関・協力者へ寄贈する）

2. 関連イベント

【企画展関連講座】

10 月 19 日（土）「大津南部の神仏習合」

講師：嵯峨井 建氏（京都國學院講師）

参加者：101 人

11月9日（土）「栗太郡の名刹芦浦観音寺の仏像」

講師：和澄 浩介氏（滋賀県立近代美術館学芸員） 参加者：101人

11月16日（土）「平安時代の仏像 一定朝から運慶へー」

講師：浅湫 毅氏（京都国立博物館連携協力室長） 参加者：126人

[講座参加者計：328人]

3. 展覧会の成果と課題

【成 果】

- ・ 大津市の南部地域は、豊かな歴史を誇る地域ではあるが、当館では平成20年の「石山寺と湖南の仏像」展を除いてはこの地域を中心に扱った展覧会はあまり行われてこなかった。ゆえに今回の展示では約10年ぶりに同地域の文化財を紹介でき、特にこの地域の住民の皆さんに喜んでいただけた。
- ・ 秘仏や原則非公開の神像、初公開の仏像・仏画を多く展示し、大津市内外からの観覧者に、これほどの文化財がまだ眠っているのかと喜んでいただけた。
- ・ 去年はキャプションに「図解パネル」を加えて好評だったが、今年は新たな試みとして、かねてから要望が多かった「仏像背面の写真パネル」をさらに添えた。こちらも好評であった。
- ・ 新たな挑戦として、所有者の特別なご配慮をいただいたうえで、平安時代の一体の仏像の撮影コーナーを作り、写真撮影・SNS投稿を可能にした。ほとんどの観覧者が撮影され、かなり好評であった。また、SNS投稿も多くしていただけた。
- ・ アンケート結果を見ると、「展示内容」については大変満足が42%、満足が52%、「説明文の分かりやすさ」では大変満足が41%、満足が45%、「文字の大きさ見やすさ」では大変満足が36%、満足が44%で、おおむね来館者の満足は得られたようである。

【課 題】

- ・ 市内自治会掲示板へのポスター掲示が今回できなかったため、宣伝力が大幅に低下した。そのためか、来館者は予想よりも下回る結果となった。
- ・ 本来は、全地域の悉皆調査の上に展示品選定を行う予定だったが、都合により悉皆調査が完遂できず、見知った文化財が多くなってしまった。もう少し初出品の作品を多く展示出来たらよかったと思われる。

【アンケート結果】（抄）

- ・ 丁寧に説明があり、興味のない者でも知りたくなりました。後姿の写真、細部の説明うれしいです。（草津市50代）
- ・ 重要文化財も多く説明も分かりやすく、良かったです。聖観音さんは写真OKで、ありがたかったです。SNSに投稿して広めます。（大津市30代）
- ・ 超明寺の石柱が見られたのが良かった。なかなか見られない仏像、神像が見られて良かった。（福岡県40代）

- ・ 旧栗太郡地域の出身なので、生地が分かれてうれしかった。(野洲市 30 代)
- ・ 毎回、説明が分かりやすく、初心者でも大変ありがたいです。学芸員さんの文(説明文)のファンです。展示のボリュームもちょうど良いです。今回、写真OKなもの、とても嬉しかったです。沢山撮らせて頂きました。仏像展は毎回楽しみにしてます。あと、図録のサイズが大きすぎずで好きです。(埼玉県 30 代)
- ・ 解説文に加えて、キャッチコピーを書いたり像の背景からの写真があったことから、入館者の理解を促す工夫がよくわかりました。(京都府 60 代)
- ・ 写真のパネルで作風についての説明があり、わかりやすかったです。図録にも写真のパネルを載せてくださっているので、うれしく思いました。(奈良市 20 代)
- ・ 裏が見えない部分を写真で展示するのはすごく良い！説明はあいかわらず 分かりやすく 覚えやすく 少々笑い心もあり大満足。これからも続けて欲しい。(静岡県 40 代)
- ・ 地元に住んでいながらすばらしい作品があるのを知らなかった。(大津市 50 代)
- ・ 自宅の近くにすばらしい仏像があるのにびっくりした。(大津市 60 代) 同意見多数。
- ・ 旧栗太郡の歴史の深さを知らされました。地域に根づいてこそのお寺を感じました。(京都は観光寺が多いですね。)(京都府 70 代)
- ・ 展示物にそえてある説明にユーモアがあり、また使われている言葉も易しく、全てゆっくり読ませていただきました。学芸員さんの仏像への愛情を感じました。(大津市 40 代)
- ・ 大津にも多くの文化財が残っていることを知るよい機会でした(最近引越してきたので)(大津市 70 代)
- ・ 展示内容が豊富です。説明文のわかりやすさは京都、滋賀で一番です。今後の展示を楽しみにしております。(京都府 40 代)
- ・ 通常拝観がむづかしいと思われる仏像の作品が見られ、説明文よくわかり「大津」の歴史の深さが少しわかり来館できよかった。(大津市 60 代)
- ・ 各展示物の説明板を上の方で掲示したほうが良いと思います。下にあると後から見えない、前の人が読むのが遅く動かない場合が多い。(大阪府 50 代) 同意見複数。
- ・ キャプションを専門用語ではなく分かりやすいものにする or 専門用語の後に説明をつけて下さい。(大阪府 50 代)
- ・ 四天王の名称がほしかった。(京都府 50 代) 同意見多数。
- ・ もっと上手に県外にアピールすべき。(京都府 50 代)

【1-2-3】企画展「大津絵－ヨーロッパの視点から－」の結果

1. 事業概要

【名 称】 第80回企画展「大津絵－ヨーロッパの視点から－」

【会 期】 令和元年10月12日（土）から11月24日（日）まで 開催38日間

【会 場】 企画展示室B

【主催・後援等】

〔主催〕 大津市、大津市教育委員会、大津市歴史博物館、京都新聞

〔協力〕 フランス国立極東学院（EFE0）、パリ日本文化会館（MCJP）

〔後援〕 朝日新聞大津総局、e-radio、NHK大津放送局、共同通信社大津支局、KBS京都、
産経新聞社、時事通信社大津支局、（株）ZTV滋賀放送局、中日新聞社、BBCびわ湖放送、
毎日新聞大津支局、読売新聞大津支局

【監 修】 クリストフ・マルケ（フランス国立極東学院 学院長）

【観覧料】 常設展示観覧料と同一（一般：330円、高大生：240円、小中学生：160円）

【展示件数】 71件（74点）

【入場者数】 7,598人（10月12日から11月24日までの常設展示来館者数）

【刊行物】 「大津絵－ヨーロッパの視点から－」パンフレット 5,000部発行
パンフレットは観覧者に配布

2. 関連イベント

10月26日 トークセッション「鬼と大津絵」 91名

フランソワ・ラショウ氏（フランス国立極東学院東京支部長）、
鈴木堅弘氏（京都精華大学）、横谷賢一郎（本館学芸員）

11月2日 シンポジウム「パリで注目された大津絵」 137名

クリストフ・マルケ氏（フランス国立極東学院学院長）、高橋松山氏（五代目大津絵師）
越 直美（大津市長）、横谷賢一郎（本館学芸員）

11月23日 ワークショップ「大津絵を描こう」 21名

日本の大津絵文化協会会員6名による実技指導

3. 広報・報道

【新聞・雑誌掲載】

京都新聞：9月15日朝刊京滋版・滋賀版、10月13日朝刊京滋版、10月28日朝刊滋賀版
11月4日朝刊滋賀版

中日新聞：10月16日朝刊滋賀版、11月15日朝刊本社文化欄

読売新聞：11月1日朝刊滋賀版

朝日新聞：11月5日夕刊本社美術館博物館欄特集

毎日新聞：11月20日夕刊ワイド芸術欄

「湖国と文化」第169号 特集「世界が見た大津絵」（公財）びわ湖芸術文化財団 10月1日

【テレビ報道】

NHK大阪放送局：10月31日 おうみ610生中継

4. 展覧会の成果と課題

【内容面】

本展は、2019年4月24日から6月24日まで、パリ日本文化会館において、ヨーロッパ初となった大規模な大津絵展を記念して、パリ大津絵展から約70点の作品を出品し、同展の構成を再現しつつ、新たに、ヨーロッパにおける大津絵受容を紹介する展覧会として再構成したものである。

即ち、パリ大津絵展は、初めて大津絵を見るフランス人のために、大津絵の基礎知識や大津絵が発生した背景について、日本の歴史や文化そのものの解説を踏まえて紹介したものであった。しかし、本展では、そのままそれを踏襲することに意味はなく、欧州における大津絵の受容史および、欧州人による独自の大津絵観を紹介する内容へと変更した。特に、近代のジャポニズム（日本趣味）、および前衛美術家たちの注目した大津絵などを中心に、これまで知られてこなかった大津絵とヨーロッパの意外な関係にスポットを当てた。

【反省点と今後の課題】

- ・ パリ展の展示構成を踏まえつつ、欧州の大津絵受容史を加えて企画Bに収めるにはスペース上無理があり、結果的に大津絵の基礎知識の紹介を省く結果となり、観覧者には不親切となった。
- ・ パリ大津絵展の開催時点で、出品者には展示作品撮影許可を取得していたので、本展でも同様に撮影OKとした。パリ会場では無音シャッターのスマホが殆どであったが、日本ではシャッター音が響くスマホが殆どであり、一部の観覧者からシャッター音に対する強い抗議があった。

【アンケート結果】（抄） 全体回答者数 1,034人（通常の企画展と比較して多数の回答を得た）

- ・ 日本人のマンガ・アニメ好きの変遷が分かるような気がした。楽しい展覧会をありがとう。（40代、大津市）
- ・ 海外の人から見た大津絵のすばらしさが伝わってきました。初めて見ましたが面白い！（60代、京都府）
- ・ 立像を作り出したこと大変面白い。その場でサラサラ描いたにしては、素晴らしい絵の数々（60代、京都府）
- ・ 大いに興味のある物なので、一年長生き出来ると思いました（80代、大津市）
- ・ 外国の方が方がよさを知っている。（50代、大津市）・ 遠路来たかいのある内容でよかった。（40代、東京）
- ・ じっくり見ているとクスリと笑えて、とても楽しく拝見しました。（50代、奈良）
- ・ まだまだ知らない大津絵のみ力を知った。外国の方からも認められてうれしく思う。（30代、大津市）
- ・ 長年、絵を描いてきた身にはとても参考になります。ありがとう。（70代、大津市）
- ・ 感激しました。以前からずっと見たく思っていたから。又、見たいです。（60代、大阪市）
- ・ 現代の川柳に通ずる。昔の人も今の人も気持ちは同じ。ほっとする時間でした。（80代、大津市）
- ・ これまで見た美術展でピカー。素朴と風刺、興味が持てた。稚拙な感じでとてもポップでグッド。（70代、東京）
- ・ これほど素晴らしいのかと再認識した。「東京、ココシガ」他でも展覧会開催も企画されては。（60代、守山市）
- ・ 日本語の図録（有料でももちろん！）があれば良かったです。残念。（40代、埼玉県）
- ・ 大津絵についての説明がいささか不足である。十三仏信仰とは又別物なのではないでしょうか。（60代、神奈川県）
- ・ カメラ撮影「OK」は一生懸命観ているものにとっては耳ざわりで気が散ります。（70代、大津市）

【1-2-4】特集展示「明智光秀と戦国時代の天津」の開催



令和2年1月に放映を開始したNHK大河ドラマ「麒麟がくる」にあわせ、常設展示室内の堅田・坂本コーナーと1階中央のビデオシアターを改修して、特集展示「明智光秀と戦国時代の天津」を開催した。

- ・タイトル 特集展示「明智光秀と戦国時代の天津」
- ・会 期 令和2年(2020)1月7日(火曜)から1年間の予定
- ・場 所 大津市歴史博物館 常設展示室内

【ポイント】

- ・ 大津市歴史博物館での展示ということをふまえ、光秀が活躍した戦国時代の堅田・坂本・天津が果たした役割に焦点を絞った展示構成とした。
- ・ セールスポイントとして、盛安寺所蔵の伝・明智光秀公の陣太鼓をお借りした。
- ・ 1階中央ビデオシアターで、ドローン映像をまじえたVTR「天津の明智光秀」(約6分)を制作・上映した。坂本に残る明智光秀ゆかりの史跡を紹介し、鑑賞後の観光遊覧につながる構成とした。
- ・ 「びわこ大津・光秀大博覧会」(大河ドラマ「麒麟がくる」大津市観光振興協議会)と連動し、主要4会場のなかに位置付けられた。

【1-2-5】 普及事業（れきはく講座）の実施状況（平成31年4月～令和2年3月）

	開催日	曜日	回数	シリーズ名など	タイトル	講 師	応募者数	当選者	参加者
1	4月6日	土	743	企画展「法明院」関連講座	法明院を愛したフェノロサとビゲロー	井上 瞳（愛知学院大学准教授）	203	180	132
2	4月13日	土	744	企画展「法明院」関連講座	フェノロサの愛した日本美術 —『東洋美術史綱』を読む—	大久保 美春（比較文化研究者）	209	181	110
3	5月18日	土	745	—	どんぐりとまめ —タネからみた原始・古代の大津—	柳原 麻子 （大津市教育委員会 文化財保護課技師）	133	133	82
4	5月25日	土	746	—	子どもの成長を祈る —なるこ参りと子どもの名前—	柿本 雅美 （大津市教育委員会 文化財保護課技師）	97	97	44
5	7月6日	土	747	ミニ企画展「石田友汀」関連講座	鶴沢派・石田家から応挙まで	五十嵐 公一（大阪芸術大学教授）	111	111	80
6	7月20日	土	748	—	唐崎にあった米軍の水耕農場	木津 勝（本館学芸員）	137	137	94
7	8月10日	土	749	—	銅で作った碑	伊藤 宗裕（佛教大学非常勤講師）	94	94	49
8	8月24日	土	750	ミニ企画展「お盆と地獄・極楽」関連講座	日本美術にみる「あの世」の造形	村松 加奈子（龍谷ミュージアム学芸員）	135	135	79
9	9月7日	土	751	ミニ企画展「フェノロサとビゲロー」関連講座・フェノロサ学会共同開催	古都礼賛 ～會津ハルが「酷愛」した奈良大和路の美～	喜嶋 奈津代 （新潟市會津ハル記念館主査学芸員）	141	141	87
10	9月21日	土	752	ミニ企画展「フェノロサとビゲロー」関連講座・フェノロサ学会共同開催	古美術写真の革命と會津ハル	湯浅 健次郎 （新潟市會津ハル記念館学芸員）	131	131	72
11	10月1日	火	753	ミニ企画展「江若鉄道」関連講座	現地見学会 江若鉄道三井寺下駅を探検する	木津 勝（本館学芸員）	67	50	38
12	10月19日	土	754	企画展「大津南部の仏像」関連講座	大津市南部の神仏習合	嵯峨井 建（京都國學院講師）	141	141	101
13	10月26日	土	755	企画展「大津絵」関連講座	鬼と大津絵（トークセッション）	フランソワ・ラショウ（フランス国立極東学院教授）、鈴木 堅弘（京都精華大学非常勤講師）、横谷 賢一郎（本館学芸員）	127	127	91
14	11月2日	土	756	企画展「大津絵」記念シンポジウム	パリで注目された大津絵	クリストフ・マルケ（フランス国立極東学院学院長）、高橋 松山（五代目・大津絵師）、越 直美（大津市長）、横谷 賢一郎（本館学芸員）	171	171	137

15	11月4日	月祝	757	ミニ企画展「江若鉄道」関連講座	江若鉄道元社員の方との廃線探訪ビデオ上映と座談会【無料イベント】	びわこ鉄道歴史研究会	—	—	150
16	11月9日	土	758	企画展「大津南部の仏像」関連講座	栗太郡の名刹芦浦観音寺の仏像	和澄 浩介（滋賀県立近代美術館学芸員）	140	140	101
17	11月16日	土	759	企画展「大津南部の仏像」関連講座	平安時代の仏像一定朝から運慶へー	浅湫 毅（京都国立博物館連携協力室長）	203	180	126
18	11月23日	土	760	企画展「大津絵」関連講座	ワークショップ「大津絵を描こう」	日本大津絵文化協会	67	31	21
19	12月15日	日	761	ミニ企画展「大津祭」関連講座	大津祭曳山からくりの修理	和田 光生（本館学芸員）	108	108	56
20	1月26日	土	762	常設展示「明智光秀と戦国の大津」コーナーオープン記念講演	明智光秀と湖西地域	河内 将芳（奈良大学文学部教授）	261	182	142
21	2月1日	土	763	—	近年発見された快慶工房の作例について	寺島 典人（本館学芸員）	170	170	99
22	2月8日	土	764	ミニ企画展「古墳時代の終焉」関連講座	古墳時代の終焉 大津の後期・終末期古墳	福庭 万里子（本館学芸員）	183	183	111
23	3月6日	金	765	叡山学院共同開催 特別公演	〔中止〕第9回 叡山学院 声明公演	叡山学院修学生約30名	83	—	中止
24	3月7日	土	766	企画展「江戸時代の琵琶湖水運」関連講座	〔中止〕大津百艘船と高札－モノの高札から何がわかるか－	杉江 進（大津市教育委員会文化財保護課）	111	—	中止
25	3月14日	土	767	企画展「江戸時代の琵琶湖水運」関連講座	〔中止〕江戸時代の石山寺の即位開帳	高埜 利彦（学習院大学名誉教授）	122	—	中止
26	3月15日	日	768	—	〔中止〕現地見学会 三井寺の涅槃会	鯨井 清隆（本館学芸員）	92	—	中止
27	3月21日	土	769	—	〔中止〕現地見学会 坂本城跡をめぐる	福庭 万里子（本館学芸員）	100	—	中止
28	3月28日	土	770	企画展「江戸時代の琵琶湖水運」関連講座	〔中止〕大津百艘船関係資料による琵琶湖舟運	東 幸代（滋賀県立大学人間文化学部教授）	137	—	中止
計							3,674	2,823	2,002

対前年度 -4回

対前年度 -688

〔参考〕2018年4月～2019年3月 32回

参加者 2,690

※3月の講座（第765～770回）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2月27日付けて中止決定。
応募者数は2月27日段階のもの。

【1-2-6】 市内小中学校等の博物館利用状況

(平成31年4月～令和2年2月)

【常設展示団体観覧】 ※市内小中学校の団体観覧は申請により常設展示観覧料減免。

来館日	学校名	参加人数	合計人数
5月9日 (木)	膳所小学校	生徒 110名 引率6名	116名
9月26日 (木)	晴嵐小学校	生徒 136名 引率6名	142名
10月31日 (木)	青山中学校	生徒 69名 引率1名	70名
11月8日 (金)	南郷中学校	生徒 58名 引率1名	59名
11月22日 (金)	栗津中学校	生徒 5名 引率1名	6名
1月24日 (金)	田上中学校	生徒 4名 引率1名	5名
1月28日 (火)	仰木中学校	生徒 5名 引率3名	8名

【小学3年生「昔の暮らし」対応】

小学校へ出向き、小学校3年生の单元である「昔の暮らし」について、昭和30年代頃の生活道具や古写真を教材として、授業をおこなった。平成28年度に作成した活用マニュアルを元として、子どもたちが実際に昔の道具を手に取り観察できる内容とした。

実施日時	学校名	参加人数	対応方法
1月28日(火)	晴嵐小学校	生徒 159名(5クラス)	出張授業
1月29日(水)	坂本小学校	生徒 75名(3クラス)	来館
1月30日(木)	青山小学校	生徒 142名(5クラス)	出張授業
2月7日(金)	大石小学校	生徒 36名(3クラス)	出張授業

計4校

(参考) 平成29年度:「昔の暮らし」対応は6校(出張5校、来館1校)

【その他】

来館日	団体名	参加人数	合計人数
7月10日 (木)	長等小学校	生徒 16名 引率1名	17名
	総合学習授業(調べ学習)対応		
8月24日 (土)	仰木の里公民館	生徒 21名 引率3名	24名
	公民館子どもの居場所づくり事業「歴史博物館探検！」		
9月18日 (水)	滋賀大学附属中学校	生徒 3名	3名
	総合学習授業(調べ学習)対応		

【補足】大津市外の学校関係による団体観覧

来館日	団体名	参加人数	合計人数
5月16日	(木) 浜松市立浜名中学校	生徒66名 引率4名	70名
11月1日	(金) 近江八幡市立八幡西中学校	生徒42名 引率3名	45名
11月1日	(金) 東近江市立能登川中学校	生徒52名 班行動	52名
11月8日	(金) 近江八幡市立八幡中学校	生徒50名 班行動	50名
11月19日	(火) 近江八幡市立八幡東中学校	生徒81名 班行動	81名
12月11日	(水) 守山市立明富中学校	生徒42名	42名

【職場体験受け入れ】

期間	日数	学校名	参加人数
6月4日(火)～7日(金)	4日間	打出中学校	3人
6月11日(火)～14日(金)	4日間	仰木中学校	3人
6月27日(木)～7月3日(水)	うち4日間	栗津中学校	3人
10月29日(火)～11月1日(金)	4日間	皇子山中学校	3人
11月14日(木)～20日(水)	うち5日間	日吉中学校	3人
11月22日(金)～28日(木)	うち4日間	志賀中学校	2人
11月24日(火)～29日(金)	4日間	北大路中学校	2人

近年は、年間約7校を受け入れており、市内中学校から新規に要望があれば随時受け入れている。体験内容は、博物館全体（バックヤードを含む）の展示観覧、受付業務や文化財（古文書・歴史資料）の整理・調査、博物館図書の登録作業などの体験をおこなっている。

【インターンシップ受け入れ】

期間	日数	学校名	参加人数
2月11日(火)～14日(金)	うち3日間	滋賀県立大津商業高等学校	3人

【1-2-7】 広報・情報発信の状況

1. プレスリリース（広報課を通じての記者発表）

発表日	件名
2019 年 3 月 29 日	ミニ企画展「平成 30 年度新収蔵品展」を開催！近江八景眺望図をはじめ新収蔵品の 21 件を紹介します。
4 月 17 日	フランス・パリ市において大津市歴史博物館との共催で、ヨーロッパ初となる大規模な「大津絵」展が開催されます。
5 月 24 日	ミニ企画展「石田友汀 知られざる技巧派御用絵師」を開催！襖絵・屏風の大作を紹介します！
5 月 24 日	常設展示室の大津絵コーナーが充実します！
7 月 26 日	ミニ企画展「お盆と地獄・極楽」を開催！昔のお盆や地獄図、極楽図などを紹介します。
7 月 26 日	特別展示「三井寺光浄院の襖絵」を開催！普段は非公開の光浄院襖絵（重要文化財）を展示します。
9 月 13 日	園城寺（法明院）から、新たに貴重な経典が発見されました！それに伴い、速報展示「新出の法明院聖教」を開催します。
9 月 20 日	企画展「大津南部の仏像 ―旧栗太郡の神仏―」及び企画展「大津絵 ―ヨーロッパの視点から―」を同時開催！
12 月 12 日	「麒麟がくるイベント」シリーズ 展覧会出品のため、盛安寺「明智陣太鼓」を大津市歴史博物館へ輸送します！
2020 年 2 月 4 日	企画展「江戸時代の琵琶湖水運」を開催！重要文化財「大津百艘船関係資料」を展示します。
3 月 5 日	ミニ企画展「江戸時代 石山寺の即位開帳」を開催します！

2. ホームページ・SNS 等の公開状況

◆ホームページ更新について

[ホームページアドレス：<http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>]

企画展、特別展示の詳細や主な展示作品については、各トピックについて news 頁を作成して情報を公開し、ホームページ更新のお知らせや学芸員視点での資料紹介について Twitter を活用している。また、貸しギャラリーやその他の開館情報については、ホームページ・Twitter 双方で告知するようにしている。

◆Twitter の更新について

[アカウント名：otsu_rekihaku URL：http://www.twitter.com/otsu_rekihaku]

Twitter 利用状況（令和元年 3 月現在） 総ツイート数 334 フォロワー数 634

【1-3-1】 講師・調査派遣等の状況

◆講師派遣（令和元年10月～令和2年2月）

10月8日（火）	指定文化財企画・展示セミナー 「平常陳列の活性化と調査研究・歴史系」	文化庁文化財第一課（京都国立博物館）
10月10日（木）	みのりと百間堤	大津市仰木の里公民館
10月12日（土）	大津祭宵宮まち散歩【中止】	(株)まちづくり大津
10月14日（月）	松阪市安楽寺の快慶仏について	三重県総合博物館
10月14日（月）	大津絵	富士見公民館
10月24日（木）	記念講演 大津商工会議所の140年	大津商工会議所
10月25日（金）	明智光秀と大津について	びわこビジターズビューロー
10月26日（土）	雄琴の歴史 福領寺や明智光秀	福領寺
11月3日（日）	尾花川歴史クイズ	尾花川学区社会福祉協議会
11月7日（木）	北国海道を歩く－木戸－	仰木の里公民館
11月12日（火）	明智光秀と坂本	大津ロータリークラブ
11月12日（火）	滋賀県のおまつりについて	滋賀県保護司会
11月22日（金）	明智光秀と大津	大津商工会議所
11月24日（日）	聖衆来迎寺と明智光秀・森可成	聖衆来迎寺
12月4日（水）	明智光秀と大津	平和堂
12月15日（日）	大津百町おもてなし学部 古地図で大津百町ツアー	大津宿場町構想実行委員会
12月16日（月）	郷土を愛する達人たちのことば 文化財を守る－大津祭の修理事業－	滋賀大学教育学部附属中学校
12月26日（木）	大津祭	おやじのたまり場
1月20日（月）	明智光秀と大津	大津商工会議所建築部会
2月6日（木）	滋賀県在住のF Pに伝授する「滋賀・大津の魅力」	日本F P協会滋賀支部
2月15日（土）	シンポジウム 写真のアーカイブについて	日本写真芸術協会関西支部
2月20日（木）	戦国時代の坂本	レイカディア大学公開講座
2月22日（土）	明智光秀と雄琴	雄琴公民館
2月26日（水）	お菓子めぐりツアーガイド研修	(株)まちづくり大津

◆調査派遣（令和元年度）

4月～12月	国宝殿展示におけた調査協力（比叡山延暦寺）
4月～6月	「三井寺の秘仏と信仰」調査・展示協力（園城寺）
6月25日	総持寺調査協力（茨木市立文化財資料館）
6月25日	デヌリー美術館鬼念仏立像調査（フランス国立極東学院）
9月	井伊家伝来古文書（近代文書）資料調査協力（彦根博物館）
9月～12月	国宝五部心観輸送指導・展示協力（園城寺）
9月～12月	重要文化財金色不動明王立像・護法善神立像輸送指導・展示協力（園城寺）
10月23～27日	『白杵磨崖仏への招待』編集委員会からの調査・撮影協力（白杵市）
12月12～13日	高山寺仏像調査協力（山口県柳井市）
12月12日（木）	びわ湖大津館所蔵作品調査協力（公園緑地課）

◆委員等（令和元年度）

- ・ 滋賀県博物館協議会 研修委員（滋賀県博物館協議会）
- ・ 滋賀県博物館協議会 広報委員（滋賀県博物館協議会）
- ・ 近江学研究所 客員研究員（成安造形大学附属近江学研究所）
- ・ 「大津百町百福物語」ブランド選考委員会委員（大津商工会議所）
- ・ みーつびわ湖・大津 調査研究委員（大津商工会議所）
- ・ 大津まちあるき推進委員会 委員
- ・ 大津宿場町構想実行委員会 委員
- ・ 清水寺史編纂委員会 委員
- ・ 総本山知恩院史料編纂所 編纂員
- ・ 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境研究所 共同研究員
- ・ 滋賀県立陶芸の森陶芸館収蔵品価格評価委員
- ・ 彦根城博物館購入候補資料評価員
- ・ 『近江八幡市史』編纂委員
- ・ 『天台学大辞典』編纂委員（天台宗）
- ・ 『西教寺の仏教美術』編纂委員（天台真盛宗総本山西教寺）
- ・ 『園城寺の仏像』編纂委員（天台寺門宗総本山園城寺）
- ・ 「滋賀の仏さま展（仮称）」企画委員（京都新聞）
- ・ 独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館調査員（彫刻）

【1-3-2】収蔵資料の貸出し状況・特別利用の状況（令和元年度下半期）

○大阪歴史博物館（大阪府大阪市）

特別展「猿描き狙仙三兄弟」

会期：令和2年2月26日～同4月5日

・奉寺清玩帖 2冊幅 （本館寄託）

○奥の細道むすびの地記念館（岐阜県大垣市）

企画展「真筆でたどる芭蕉の生涯③ ～『奥の細道』の旅 そして終わらぬ旅へ～」

会期：令和2年3月28日～同5月29日

・中村物赤白画賛 芭蕉「幻住庵記」 1幅 （本館蔵）

・元禄3年9月28日付正秀宛芭蕉書簡等貼交屏風 1双（本館寄託）

○亀岡市文化資料館（京都府亀岡市）

特別展 「明智光秀と戦国丹波－丹波進攻前夜－」

会期：令和2年1月25日～同3月8日

・明智光秀書状（元亀2年9月2日）（和田家文書）〔複製〕 1通 （本館蔵）

○博物館資料の特別利用 29件

【1-3-3】 企画展示室の利用状況（平成31年4月～令和2年2月）

	利用期間	展覧会名	主催	観覧者数	利用展示室
1	4/3～4/7	第13回洋画合同作品展	油絵同好会合同会	403	B
2	4/10～4/14	志賀の水水墨画作家展	滋賀県水墨会	424	B
3	4/27～4/29	第32回全国シルバー書道展 滋賀展	(公社) 日本書芸院	1,034	A
4	4/27～4/29	第14回滋賀書作家協会会員展	滋賀書作家協会	1,004	B
5	5/1～5/5	第21回花寿会合同作品展	花寿会	260	B
6	5/9～5/12	墨志会院展	墨志会	580	A・B
7	5/14～5/19	第65回滋賀県美術協会展	滋賀県美術協会	919	A・B
8	5/21～5/26	湖青展	湖青会	833	B
9	5/21～5/26	第23回滋賀水彩展	滋賀水彩画会	518	A
10	5/28～6/2	2019ニ科京滋支部展（絵画部）	ニ科京滋支部	453	A
11	5/28～6/2	アートスクール光曜滋賀堅田教室 第11回カルチャークルスグループ展	アートスクール光曜滋賀 堅田教室	444	B
12	6/4～6/9	第9回しがの風展	しがの風	603	A・B
13	6/5～6/10	洋画サークル個の会展	洋画サークル個の会	319	B
14	6/10～7/7	第70回大津市美術展覧会 第43回大津市写真展覧会	大津市文化・青少年課	2,594	A・B
15	7/11～7/15	第54回 滋賀県硬筆展	(公社) 滋賀県書道協会	4,081	A
16	7/11～7/15	キルトフープ パッチワーク作品展	キルトフープ	715	B
17	9/3～9/8	2019 CAF.Nびわこ展	CAF.Nびわこ展実行委員会	508	A・B
18	9/10～9/16	滋賀県書展	(公社) 滋賀県書道協会	565	A・B
19	9/18～9/23	第20回錦織美術倶楽部作品展	錦織美術倶楽部	389	B
20	9/25～9/29	北川邦之先生を偲ぶ仲間展	あんだんて書道研究会	479	B
21	9/26～9/29	第11回玄風書道展	玄風書道会	635	A
22	12/3～12/8	2019年度 現代大津絵展	日本大津絵文化協会	471	B
23	12/10～12/15	第一回大津写真連盟合同写真展覧会	湖都文化実行委員会 大津市文化連盟	328	B
24	12/11～12/15	大津市立幼稚園こども展	大津市教育委員会	2,698	A
25	1/10～1/13	第37回 雅友書展	雅友会	270	A・B
26	1/16～1/21	大津市小・中学校児童生徒書写作品展	大津市教育委員会	2,577	A・B
27	1/22～1/29	大津市特別支援学級・養護学校作品展	大津市教育委員会	2,205	A・B
28	1/30～2/4	大津の子ども総合美術展	大津市教育委員会	2,534	A・B
29	2/5～2/9	第59回滋賀県書き初め展覧会	(公財) 滋賀県書道協会	5,735	A・B
30	2/11～2/16	成安造形大学 卒業制作展2020	成安造形大学	565	A・B
計		30回		26,309	
				対前年度	△ 8,251
参考	平成30年4月～平成31年2月	30回	総観覧者数	34,560	